

小網代通信

2020年 12月号 VOL-270

今月の内容

- | | | |
|----------------------------|--------------------|--------|
| ・連絡事項 | 編集委員 | 1ページ |
| ・「ハーバー整備作業の報告」 | 三浦 征幸(ハーバー管理整備委員長) | 2ページ |
| ・「金属摩耗状況撮影 と シンカー位置の経緯度測定」 | 大谷 正彦・澤樹 征司(クロニア) | 3~4ページ |

連絡事項(編集委員)

1. < ハーバー整備作業が予定通り実施されました >

11月21日~23日の三連休に行われました。天候に恵まれ予備日を入れた三日間でしたが、今回は三日間をすべて作業することになりました。コロナ禍ですので、小人数で密を避けながら、マスクを着用しての作業となりました。連日、組合から3~4名の方々とダイバー2名、クラブのハーバー整備委員が10名程で各日16名程の方々と舳の接続部品の交換や補修、舳の移動、点検等が行われました。詳しい内容は、2ページから4ページにご報告を掲載いたしましたのでご覧ください。

例年2回の作業を予定し、点検や補修などを計画しておりますが、この3年間は、天候や透明度などの条件で年1回しかできていない状況となっております。僅かな条件(気象や位置により)の違いで、係留シャックルの破断や破断寸前の物がある一方、殆ど痛みのない物もあるということでした。作業をいただきました皆様、お疲れ様でした。

2. < クラブハウス内及びクラブハウス周辺では、マスク着用をお願い！ >

2020年は、新型コロナウイルス感染症で始まり、未だ終息の見込みもなく1年が終わろうとしています。電車や人が大勢集まる場所では、マスクを着けていますが、小網代に来るとあまり往来も少ないからとついついマスクを着けずにクラブハウス内に入ること、クラブハウス周辺をマスクを着けずにお話しをしたりすることがないようにお願いいたします。小網代周辺も高齢者が多く、KYCメンバーもそれなりに年齢が高いです。マスク・手洗いの新習慣はこれからも続けてくださいますようお願いいたします。2021年もヨット遊びができる環境であるように皆様で守っていきたいですね！



【小網代ヨットクラブウェブサイト情報】 URL <http://koaziroyc.jp>

【次回予定 総務委員会 12月21日(月)20:00~web会議開催予定】

ハーバー管理整備委員長 三浦 征幸

11月21・22・23日に実施した、ハーバー整備作業の報告です。

春から延期されていた、漁協との共同作業による、繫留点検、整備作業が11月21・22・23日の連休に実施されました。

コロナ禍の中での実施には懸念される方もありましたが、昨年、澤樹氏(ケロニア)が撮影した金属の磨耗具合や、過日発生した繫留用シャックル破断等から、再三の延期は危険との判断をし「3密を避けて実施」との判断をいたしました。

作業は21日の午前9時より予定通り開始。予想した通り、金属部やロープの磨耗が大きく、作業は予想以上に手間取りました。当初の日程では、2日で終え23日は予備日程と考えていましたが、結果として3日間すべてを使つての作業となりました。3日間の延べ作業人数は組合11名、ダイバー5名、クラブ員有志29名の方々にご協力いただきました。御礼を申し上げます。

また、作業現場を澤樹氏(ケロニア)に水中撮影で記録して頂いておりますので、次ページにその様子を報告していただきます。

今回の作業は、コンクリートシンカー(トウフ)と繫留索の接続部、付属部品の磨耗劣化等に対し、補修をした物、部分交換した物 隣のシンカーへ移動した物、点検だけで済ませた物、等々があります。

この3年ほどは天候や、海水の透明度などの条件により年1回しかできませんでしたので、今後はできれば年2回程程度の点検・補修作業を予定していきたいと思っております。

今後の対策に付き、会員の皆様も提案等ご意見をお寄せください。



過日発生した係留シャックルの破断



作業中の升網丸とダイバー



ダイバー作業中

金属摩耗状況撮影 と シンカー位置の経緯度測定

ケロニア 大谷正彦 澤樹征司

今回、澤樹が潜り三浦委員長と大谷がテンドー上で補助して、①作業状況撮影 ②U字金具等金属摩耗状況撮影 ③シンカー位置の経緯度測定 を行った。

【海底写真】



シンカーのU字金具に新チェーンを接続



左方のシンカーから来たチェーン先のリングに3艇の繋留索が接続されている。

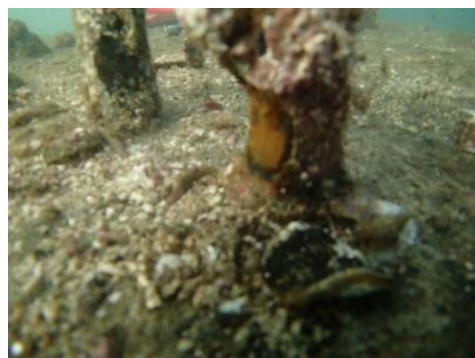
【シンカーのU字金具の摩耗状況】



シンカーのU字金具摩耗状況
指先位置が摩耗している



シンカーのU字金具の摩耗状況
右側の根元部分が摩耗している。



シンカーのU字金具摩耗状況
部分拡大

【シンカーの経度・緯度測定結果】

これに先立って、ドローンで上空から撮影した写真をもとに海図上に各艇を描いた泊地区を作成しておいた。今回テンドーでシンカーの真上の位置に行き2台のハンディーGPSで全23個のシンカーの経度・緯度データを測定記録した。そして、シンカー位置(2台の測定値の中央値)を上記泊地区図上にプロットした。

シンカー位置をプロットした泊地区図を下に示す。

- 01 ~ •23 が23個のシンカー位置である。3列目の•19 ~ •23は横つなぎチェーンで結ばれている。

今回分かったこと 従来作られていた図と実態とが随分違っていることが分かった。
 従来図にある4列目の横つなぎシンカー列は存在しない。
 •09番のシンカーがミスフィットにかなり近い位置にある。

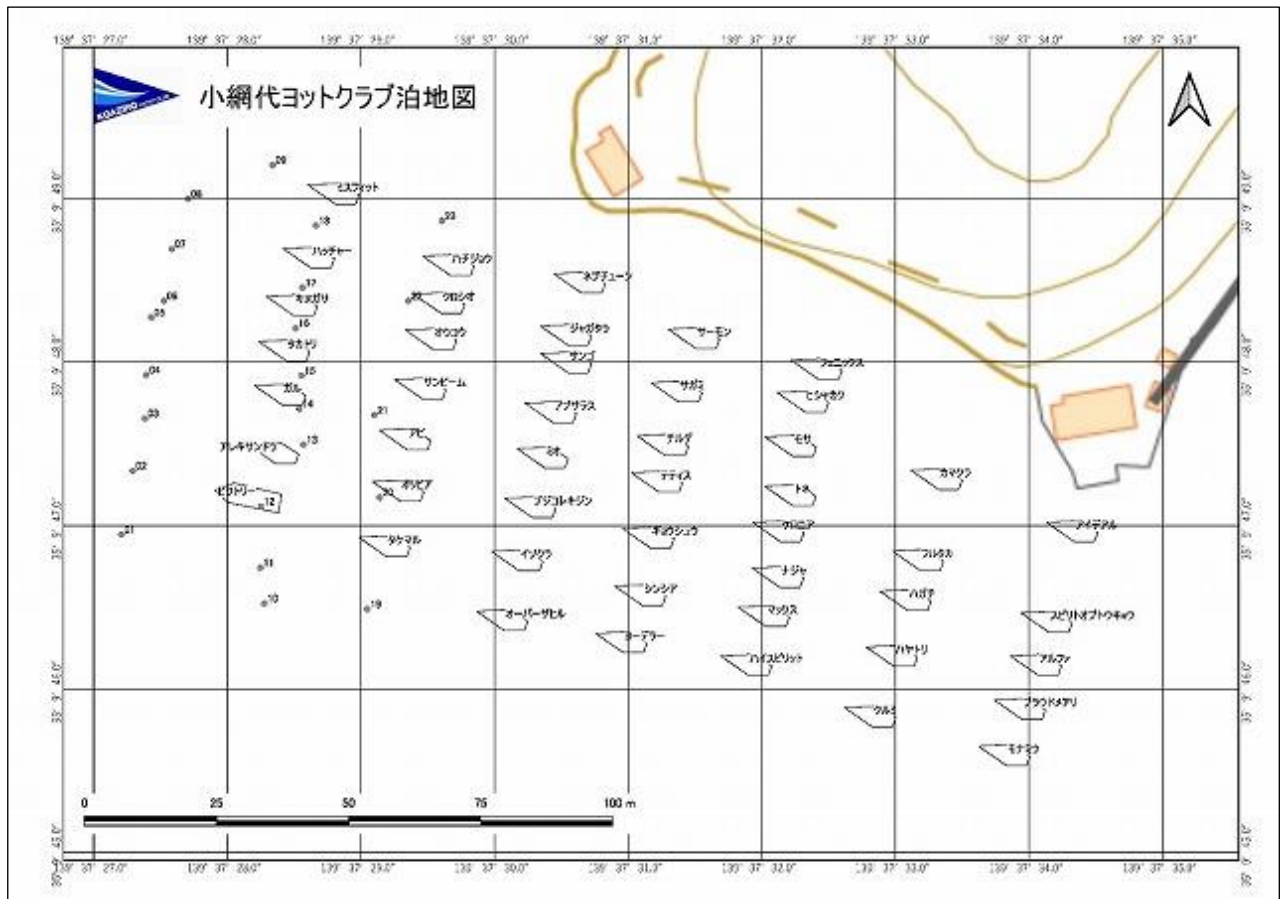
今後進めたらいいと思うこと(提案)

今回のシンカー位置把握と泊地区図上へのプロットはまだ第1段階である。

今後、各シンカーに繋がった艇の把握、後列の唐人アンカーの位置の測定・プロットを行って実態の全体泊地区図を作るのが理想である。

これらを進めるためには、各艇の協力、ボランティアダイバーの協力が必要である。

以上



シンカー位置をプロットした小網代泊地区図(案)